

令和4年度 (一社) 犬山祭保存会理事会 第7回 議事録

●日時

令和5年2月4日(土) 19:00～20:30

●場所

IMASEN 犬山からくりミュージアム玉屋庄兵衛工房 2F

●出席者(敬称略)

【常任理事】会長(石田)、会長代行(多和田)、副会長(澤野、長谷川、小林)、伝統文化副委員長(長井)、てこ委員長(浅野)、てこ副委員長(吉田成伸、陸浦)、企画広報委員長(松田)、企画広報委員長代行(斉木治郎)、専務理事(溝口)

【理事】魚屋町組理事(小川)、下本町組理事(松岡)、中本町組理事(栗谷)、熊野町組理事(浅野)、新町組理事(坪内)、本町組理事(安田)、練屋町組理事(小島)、名栗町組理事(森)、寺内町理事(三輪)、余坂組理事(藤澤)、外町組理事(伊藤)

【企画広報委員】斉木美加、梅田、前田

【その他】保存会事務員(竹村)

●議事

I. ①会長挨拶 ②報告事項

II. 議題

① 令和5年犬山祭について

②その他

●配布資料

- ・祭礼関係予定表
- ・犬山祭参加申し込み・会費
- ・保険について
- ・文化財防火デーの実施について
- ・本町の金襦袢
- ・試楽の車山巡行
- ・自警団実施について

●議事内容

I.

① 会長挨拶

- ・会長：先日、国府宮はだか祭が3年ぶりに行われ盛り上がった。コロナ前とは違う現象もあったということで、新しい形が模索されている。我々の犬山祭もコロナ禍で皆さんで議論しながらやってきたので、コロナが終息しても、以前の犬山祭に加えて、脱皮した新しい犬山祭が現出するのではないかと思う。新しい時代の犬山祭を今度の4月にやっていきたい。

犬山祭保存会が結成されて今年で50年になる。その間に、皆さんが苦勞して祭に関わる人たちが議論して脱皮と前身を繰り返してきている。次の50年に向けて我々も考えるべきではないか。その時々祭をやるだけではなく、今の犬山祭をいかに子供達やふるさとの犬山のためにもっていくかを考えて保存会活動をしていくことが大事ではないかと思う。どうぞ一緒に考えていただきたい。

我々が所属する全国山鉾屋台保存連合会の33の祭がユネスコの無形文化遺産になった。これは、20世紀とは違う新しい考え方の下に出来た制度であり、そこに犬山祭が登録されたのは、まさに新しい時代にマッチした祭であるという認識を持っていると思う。全国山鉾屋台保存連合会の事務局は秩父市にある。こちらも時代の波に洗われ、会長も変わろうとしている。次をどのようにしていくかという議論を、先日京都にて行ってきた。そして、京都がリーダーシップを取っていただくということで、私なりに全国の意見を纏めていこうと思う。

祭は縦割りであり、隣の祭との情報交換がない。会長を選ぶのは大変であり、内情は難しい状態である。そこで、全国の皆さんに、京都に持って行くのが原点返りとしてどうかという方向で動いていこうと思う。すぐそういう流れができるということではないが、こういったものが会長としての考え方なので、皆さんの頭の片隅に入れておいていただきたい。

インディゴが犬山にきたのは大きなことである。これまでの犬山観光とは違う視点を持っており、インディゴが真先に目を付けたのが犬山祭のからくり人形である。インディゴの視野は欧米中心であるが、欧米の人はからくりを知らない。2月21日にインディゴでからくりをやるという話も出てきている。

一番の脱皮は、若い人たちにバトンタッチして任せることである。若い人の時代感覚の発想とセンスによって新しい伝統を作り上げていくことが大事なので、各委員会を担う若い人たちに大いに頑張ってもらいたい。保存会100周年を目指して長い視野の保存会活動を期待して、今年の祭が、これまで隠忍自重してきた壁を破るような祭にしていただきたいと思う。よろしくお願いいたします。

② 報告事項

- ・小林副会長：観光協会からの依頼で、わらじ作りの体験工房をやっていただきたいというお話があった。aini（アイニー）というサイトを見ていただくと、犬山祭のわらじ体験教室についての記事が載っている。開催日は3月25日。観光案内所の研修室で行う予定。募集人数は5組10名。よろしくお願いいたします。
- ・会長代行：各ご町内の令和5年の会所場の日時と場所を記入していただきたい。
- ・専務理事：観光協会からの要望で、犬山祭の取材をしたいので、各ご町内の会所場も取材対象にしたいので教えて欲しいという要望があったので教えていただきたい。よろしくお願いいたします。

II. 議題

① 令和5年犬山祭について

- ・ 会長代行：三委員会合同会議を開いているので、進捗状況と決まったことを報告していただきたい。
- ・ 企画広報委員長：会員証について。昨年度は名刺サイズのものをお配りしたが、今年度は新しいものを検討しており、先程三委員会にて了承を得た。国府宮のはだか祭の輪守りをイメージしたもので、手ぬぐいを染めて犬山祭と入れるということで、6年周期で色を変えてお配りしたい。長さが90センチほどなので、腰ひもとして縛れるようになっている。ご了解を得られればこちらで行きたい。こちらは女性から出た意見でとても良いということで三委員会でも了承を得た。値段は120～150円ほどと安価であるが、会員全員分となると約2000枚を作ることになるので、他の委員会のご協力も仰いだうえで進めていきたい。名刺サイズの会員証も併せて作り、両方配らせていただく予定。「犬山祭」と、「つなぐ・ひきつぐ・ささえる」の文字を漢字一文字ずつ染める予定。何年ということは入れられない。
- ・ 会長代行：今日の理事会で結論をいただき製作に入りたいので、よろしければ皆様にご了解をいただきたい。

現在、三委員会で企画を練っている最中であり、試楽の夜の運行について今年とは違ったやり方にしたらどうかということで、ご了解いただければ今回の企画に乗せていきたい。

- ・ てこ委員長：今年とは従来通りの二組に分けるが、城前組を北組の6町内、駅前組を南組の7町内に分けさせていただく。北組について。城前を出て本町交差点を通過、鍛冶屋町交差点で鍛冶屋町に入って各町内に帰って頂く。枝町さんは時間の都合上熊野町を通過して帰って頂く形。南組は駅前から南熊

野町を左折して、名栗に入って下本町の通りに出てご町内に帰って頂く。鍛冶屋町は南鍛冶屋町から自町内に帰って頂く。

北組の夜の出発は、余坂町、寺内町、魚屋町、新町、練屋町、枝町、南組は本町、中本町、外町、下本町、名栗町、鍛冶屋町、熊野町の順で出ていく。

- ・理事：行程表について、最初の表から今回変更となったので、次回からもっと慎重に発表していただきたい。
- ・会長代行：今は企画の段階でご提案いただき、理事会でご承認いただくか変更いただければ、次回の理事会ではしっかり企画案として出させていただけるとのことである。これが最終案ではない。
- ・理事：前回の理事会の発表では、駅前組が北と南とが反対だった。その表を元にして運行表を今作ってしまっている。
- ・前回のものは、参考資料として過去の平成31年の運行表を付けたものである。
- ・参考で出すのなら、今回の企画のもので出していただきたいかった。すでに参考に出されたもので運行予定を町内で作ってしまっている。
- ・会長代行：行き違いがあったようで申し訳ない。前回出したものは、今年の祭は従来のやり方でやりませんか、以前はこのようにやっていました、という事を出した案であり、それに沿って、それで良ければ今年はそれでやりましょうということである。今はまだ企画段階である。
- ・理事：また次回の理事会で変わる可能性があるのか。
- ・会長代行：この案で良いということであれば、これに沿って、今度の企画案については運行表を全て付けて、理事会に出させていただきます。
- ・理事：そういう事であれば、自分としては、前回企画案として出たやり方でやらせていただきたい。
- ・副会長：平成31年の運行表を出したのは、31年から3年やっていないので、皆さんの記憶の中から消えているだろうということで、資料として出させていただいたもので、それを元にして決めていくということである。

- ・会長代行：企画案として、次回の理事会にはしっかりしたものを出させてい
ただいて進めていきたい。

続いて、会員証について。反対意見も出ないので、こちらで発注させていた
だく。てこ固め式までには間に合わせる予定なのでよろしく願いいたします
す。

- ・理事：今年の色は何色になるのか。

- ・企画広報委員長：今年は青色となる。

- ・下本町：土曜日の夜に13輦を並べるという案は、無くなったということで
進んでいくのか。

- ・会長代行：従来のやり方で今年度はやらせていただこうと思っているので、
ご理解いただきたい。13輦を揃えるのは良く揉んで行政とも相談して詰め
たうえでやりたいと思っている。

- ・下本町：昼も13輦並べているのに、夜同じことができないのはなぜか。

- ・専務理事：三年ぶりなので、無理な企画は止めよう、ということである。夜
車山を城前広場に集めるのは三年ぶりということになる。昼は人が流れる
が、夜となると5000から10000人が集まり、危険な状態となる。明
石の花火の事故の検証で、一平方メートルあたり7人以上になると極めた危
険な状態で事故につながるという結論が出ている。あの広場は3000人が
限界であり、近い将来そういったことをやるのは良いが、それをどうやって
クリアするかということを検討しないといけない。

- ・下本町：一度やろうということで、検証しようとして、雨で流れたり、そう
いうこともあった。

- ・てこ委員長：13両揃えて出すということで執行部で検討して案も作った。
それを警察に提出したところ、厳しい条件が出た。車山が通るところと雑踏
とをポールとパイロンで完全に区切り、更にパイロンすべてに赤く点滅する
ライトを点けるといったもので、この春の祭りが終わってから、三委員会で
危険なところを練りながら考えていきたい。

- ・理事：13輻揃えることが難しい件について、分かっていた話であれば、前回の時点で理事の方に聞く必要はなく、こうしようと言えば良かったのでは。
- ・前は、平成31年の通りのままで良いですか、というご提案の中で、31年と同じではなく、13輻揃えたい、というご意見が出たということでは。
- ・理事：その時、どういうやり方が良いか、という質問が各理事さんに対してあったので、私も13輻並べたいという意見を言わせていただいた。実際には13輻並べるのが危険であり難しいということは分かるが、それであれば、前回の時点でこのように行きます、と言えばよかったです。多数の意見が13輻並べたいというものであったなら、そこは話をするべきだったのでは。
- ・会長代行：そのことについて会議を色々開催し、議論をした中で、その中の結論として出てきたものである。
- ・理事：言っていることは分かるが、その話の内容を理事の私たちにも聞かせてもらわないと、これで行きますということになると、13輻並べたいと言った側としては納得がいかない。
- ・会長代行：夜車山で13輻を揃えて出すということで企画案が出た時に、ほとんどの町内で車山を出していないし、従来のやり方で祭をした方が今年度は安全ではないか、何か事故があった場合とても対応できないし、今年度は従来のやり方でやっていくということで、会議を重ねた結果、そういった結論になったということである。今後どうやっていくかは今年じっくり考えて、行政と打ち合わせを重ねていきたいと思うので、今年はそのように進めさせていただきたい。
- ・会長：三委員会に出席した際、夜車山を揃えるのを何とかやれないかということで会長としてお願いをした。その結果が今日の結論である。並べてやるといっても、我々保存会だけでやれるわけではないので、それぞれの方のご意見も取り上げたいが、皆で熟議し合った結論に従っていくのも民主主義の大事なルールとしてやむを得ないのではないかと思う。

- ・会長代行：ご協力いただき、今年度は従来の方法で行い、一部変更して次回企画案を提出させていただき、その上で進めていきたいと思うので、ご協力よろしくお願いいたします。次回の企画案ですべて出させていただきます、その上でご議論いただきたい。

鏡割りを例年やっているが、三委員会において、こちらは中止するという意見で決定した。祭の雰囲気づくりに貢献するものではあるが、色々なことを考えると、今年は止めた方が良いという結論となった。

曳き出し式について。いつもは駅前のみだったが、やはり針綱神社前でもやっていこうという案も出てきているので、次回検討していただきたい。

- ・理事：先日てこと打ち合わせをしたが、自町内は3年ぶりに車山を動かすうえで、場ならしをさせていただけたらと思う。ご検討いただきたい。3月31日の金曜の昼間に町内だけを曳くだけの形でもいい。
- ・会長代行：場ならしに併せて金曜日の夜に宵祭をやったらどうかというご意見もあるので、それも含めて警察等と協議させていただく。他のご町内でも場ならしや宵祭をやりたいという場合は、次回詳細は決めさせていただくので、各ご町内のご判断にゆだねる形となる。宵祭は、車山蔵での飾り車山であれば警察の許可は不必要。
- ・てこ委員長：外町さんと名栗町さんについて。試楽の朝に熊野町を通過して城前広場に行かれる予定か。
- ・理事：まだ決めかねている。
- ・理事：試楽と本楽とで通る道を別にさせていただけるとありがたい。
- ・会長代行：他にもご希望等あれば、てこ委員長に報告していただき、また企画案に反映させていただくのでよろしくお願いいたします。
- ・専務理事：祭に向けての注文票について。多くの町内が注文されているツーソンは22、3%の値上がりとなっている。草鞋の値段は変わっていない。カメヤマローソクについてはまだ分かっていないため、次回に明確な値段を記載する。次回理事会にて注文票を明記して提出するので、注文していただきたい。

犬山祭参加申込書について。一々全部を書くのではなく、新規と辞められる場合にのみ申告していただき、縦書きでも横書きでも問題ないということで、事務方としても町内さんに負担の無い形で行う予定。他にも、最初のみ各ご町内に負担をしていただき、その後作業を簡略化できる案もあるとのことなので、また次回に報告させていただく。前回のご質問に関しては、そのように簡素化させていただくので、よろしくお願いします。

保険について。車山が保険の対象になるのはいつかということについて、普通傷害保険の保険期間は3月25日～4月6日、4月7日は保険から外れ、4月8日～9日となる。保険料は4年前と同じ金額となる。次回には代理店に出席していただくのでまたご質問いただきたい。

- ・ 伝統文化副委員長：2月26日に伝統文化委員会を開催する。議題は祭、会所場、練習、役員のこと等について。是非ご出席のほどよろしくお願いします。
- ・ てこ委員長：2月26日に自警を行う。集合場所がからくり館前広場。てこ委員が半纏と弓張をお借りするので、各ご町内の理事の方はお願いします。自町内で参加していただけるてこさんの分だけで良い。
- ・ 専務理事：10年前に町内の車山蔵で付け火があった。夜は新聞紙などの可燃性のものを置かないようにしていただきたい、という注意喚起をお願いしたい。参考として文化財防火デーの資料を添付したので確認いただきたい。
- ・ 本町理事：自町内で次の4月から小学生がゼロとなり、太鼓を叩く人は外から集めるしかなくなる。町内に半纏がなかったので、外からは金襦袢を集めるのが大変となる。そこで、町内のある方から金襦袢を寄付していただけるということになったので、完成することができた。子供もなんとか5人集まって、会所場で練習している。この金襦袢で太鼓をたたいていただく予定。金額は金襦袢の上だけで一着40万ほど。

- ・会計：祭に向けての町内からの出金も出てきている頃だと思うが、今年も例年通りの45万の補助金の内容で行けるということになってきている。分からない所があれば私か歴史まちづくり課に連絡していただきたい。5万、8万ほどの車山の修理については、保存修復委員会を通さずに県の文化財課に言うだけであれば通る。どこを直すかによって通るかどうかは違ってくる。そこは保存会として判断できないので、直接歴まちに相談してもらい、判断していただくことになる。
- ・澤野副会長：協賛金について。3年前に集めていただいた分をまだ披露をしていないということで、今年は協賛金の支払いが不要である方がほとんどだと思うが、しかしあえて協賛していただけるという方は是非お願いしたい。3年前に支払ったが、また払っていただけるという所もある。是非皆様方にもご協力のほどよろしくお願いします。
- ・会長代行：広く浅く参加していただけるのが良いと思うので、よろしくお願いいたします。
- ・会長：ありがとうございます。祭が近づいてきているので、またご協議いただけたらと思う。私もてこや企画の皆さんに、車山の巡行の順番は京都のようにくじ引きをして決めたらどうかと言ったりしているが、アイデアを出していき、古典的にならないで良いと思う。順番を決めたのは戦後からであり、江戸時代は、それぞれの町内が針綱神社と掛け合って順番を決めていた。順番というものは伝統も何もないので、新しい伝統を作っていくという気持ちで考えていきたい。

場ならしや車山組も前日の昼からやっていた。楽しく面白い、前向きな発想で大いに議論いただきたい。誰かが独善的にきめるわけではなく、皆さんの合議制で決めるのでよろしくお願いします。

●次回日時

令和4年2月25日

●次回場所

からくり館2階

●記録日

令和5年2月7日

●記録者

竹村

●署名

石田芳弘

多和田兼道